

授業形態

『講義』

講義・演習概要

本講では、欧米諸国の経済発展の歴史を振り返り、今日的な大量生産社会がどのような経緯で成立したかについて論じる。次に大量生産社会の成立によって発生した資源・エネルギー・環境の諸問題を論じ、最後にこれからの経済発展にとって致命的に重要な人口にまつわる諸問題を扱う。

学習(到達)目標

経済発展の歴史的プロセスを理解し、さらにこれからの経済発展のために解決しなければならない問題についての知見を得る。これらの学習を通して本学の教育の目標である「世界の市民の養成」に則り、世界の市民にふさわしい知識と判断力を涵養する。

講義・演習計画

【第1回】 大量生産社会の濫觴 エネルギー革命としての産業革命

【第2回】 大量生産への準備 第二次産業革命

【第3回】 大量生産の始動 互換性部品と労働管理

【第4回】 大量生産体制の確立 フォーディズム

【第5回】 大量生産社会の到来

【第6回】 経済成長に対する2つの制約

【第7回】 資源問題

【第8回】 環境問題 公害・オゾン層破壊

【第9回】 環境問題 地球温暖化

【第10回】 成長の限界はあるのか

【第11回】 人口問題の位置づけ

【第12回】 歴史的人口動態

【第13回】 人口成長と人口転換

【第14回】 人口成長と経済発展

【第15回】 少子高齢化問題 わが国の直面する難問

成績評価の方法

試験		レポート		その他	100%
コメント	学期中に3回実施する小テスト兼課題によって成績を評価する。課題は授業の内容を理解しているかどうかを問うものである。課題の配点は3回とも同じ。				

テキスト

著書	望月和彦	タイトル	大量生産社会と資源・環境・人口問題
ISBN		出版社	kindle版
教科書購入区分	学生独自購入	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	
著書		タイトル	
ISBN		出版社	
教科書購入区分	選択なし	備考	

参考文献

事前および事後学習の指示 (事前学習 30 時間・事後学習 30 時間)

事前学習: テキストおよび講義資料を使った予習

事後学習: 講義要約を使った復習、課題の完成

その他備考(担当教員用)

キーワード

備考(管理者用)

(旧: 経済開発論) 02~10E・CBCC生読替